



中藤っ子

LOVERS

令和6年度 No. 12
福井市中藤小学校だより
発行日 令和7年3月24日(月)
〒910-0837 福井市高柳 3-3001
TEL:54-3823 FAX:54-3874

さようなら令和6年度 ありがとうございました

いよいよ令和6年度も幕を閉じます。197日間の教育活動の中で、児童は教職員の指導や他の児童との協働を通して、さまざまなことを学び、さまざまなことを体験してきました。それは決して平坦な道のりではなかったかもしれませんが、そこを乗り越えての今があると思います。修了式が行われる3月24日には、児童自身の成長と変化を自覚し、自信と今後の期待感を高められるような学年じまい・学級じまいをしたいと考えています。ご家庭でも、今年度をふり振り返り、来年度への希望にあふれる話し合いや言葉かけをお願いします。今年度1年間、ありがとうございました。(文責：勝木)



ある日の出来事から

橋爪さんをお迎えして…

～ 橋爪文庫 図書贈呈式 ～

3月5日、平成8年からおよそ30年にわたって「橋爪文庫」として中藤小学校に図書の寄付をしてくださっている橋爪寛一さんをお迎えし、来賓として市議会議員の酒井良樹さんがご臨席の下、「橋爪文庫 図書贈呈式」を行いました。学校からは5年生が参加しました。橋爪さんには、これまでに合計で5,000冊以上の図書を寄付していただいています。今年も89冊の図書をいただきました。

式では、児童の感謝の言葉とともに手作りの感謝状と花の鉢植えをお渡ししました。その後、橋爪さんからは「中藤っ子への思いや願い」について、酒井さんからは「読書の大切さ」についてお話がありました。中藤小学校は、これからも橋爪文庫を大切に、大いに利用・活用させていただきます。橋爪さん、ありがとうございました。



歌で思いを交歓、在校生に見送られ ～ 卒業生を歌で送る会 ～

3月10日、卒業生を歌で送る会が開かれ、翌日に卒業式をひかえた6年生と在校生が歌でエールを交歓しました。在校生は、今月の歌でもある「大切なもの」を歌いました。歌詞は、単調に生きていると忘れがちな「当たり前」の尊さを思い出させてくれ、離れてしまっているががんばるという気持ちを歌っています。それに対して、6年生は、卒業式でも合唱する「越えてゆけ」の曲で返しました。歌詞は、新しい自分に出会おうとしていたり、自分の背中を押すように前に進もうとしていたりそんな心情を歌っています。お互いに感謝や励ましを交わしているように思えました。歌が終わり、6年生は在校生が見守る中を、拍手のシャワーを浴びながら退場していきました。



134名の卒業生は巣立っていきました

～ 卒業証書授与式 ～

3月11日、第115回福井市中藤小学校卒業証書授与式が行われました。2週間にわたり「一人一人は美しく振る舞う」「みんなでそろえる」の合い言葉のもと、練習を重ねてきました。はじめは、自信のない様子でしたがみるみる上達し当日を迎えました。入場から国歌・校歌斉唱、証書授与、校長式辞や来賓祝辞、卒業生の歌と肅々と式は進み、退場の時を迎えました。その時の卒業生は、堂々と、そして爽やかな笑顔でした。とても厳かな式であったと思います。134名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとう。君に幸あれ。



立つ鳥、跡をにごさないように、新天地へ ～ 各学年 教室移動 ～

3月18日、5年生から教室移動が始まりました。私物を運ぶ児童、移動式ロッカーを運ぶ児童、今まで使っていた机や椅子を磨く児童、黒板や窓を磨く児童、教室を掃除する児童等、様々な役割を分担しながらお引っ越しをしていました。移動を終えた児童からは新しい環境になってうれしそうな笑顔がみられました。

1年間、その気持ちを持ち続けてほしいと思いました。



令和6年度よ、ありがとう さようなら ～ 令和6年度 修了式 ～

3月24日、令和6年度の修了式が行われました。代表児童に修了証(通知表)を授与しました。修了式の式辞の中で、1年前に比べてできるようになったことを思い出すことで、自身の成長に気づき、さらに成長させるよう期待感をもたせました。そして、「中藤っ子のあいうえお」で1年間でふり返りながら、学校での活動や友達との協力を通じて育つ「心」についても話をしました。来年度はさらに より良い1年になるよう、みんなと願いました。

修了式の後は、異動で転任される先生方の離任式がありました。



校長室から

令和6年度の総括と 来年度への展望

私の中藤小学校に着任して1年が経とうとしています。これまで児童の様子を見、保護者の方々と話し、教職員からのふり返りを聞いて、考えたことをまとめたいと思います。

1 学習指導面

11～12月にかけて全校でCDT学力検査をしました(6年生は4月の全国学力調査)。その結果、全国平均を下回り、全校的に「学力の二極化」が見られました。本校では、「分かる・できる授業づくり」に力を入れてきましたが、来年度は「分かるー授業改善・できるー内容の定着」として、基礎的・基本的学力の向上と家庭学習の工夫にも取り組んでいきたいと思います。家庭学習、いわゆる宿題については、個数ではなくかける時間でとらえ、余剰時間は自分で課題を見つけて取り組む「自主学習」を改善していきたいと思います。

2 生徒指導面

今年度は、暴言・暴力等によるいじめがたびたび見られました。また、学校だけでは解決できず、保護者の方や関係機関にも入っていただく事案もありました。来年度に向けて、本校のいじめ防止基本方針を見直し、積極的な情報共有、ご家庭や関係機関と連携を深めることによって、未然防止・早期発見・解決に努めていきたいと思います。

3 道徳(豊かな)心の面

学びに向かうためにも、人と関わり協働していくためにも「道徳心」の醸成は欠かせません。凡事徹底を基本に規律を身につけながら、自己決定の場、自己肯定感の得られる場、共感的関係を育む場として、ポジティブ教育プログラムを教育活動に取り入れていきたいと思います。

4 おわりに

上記の3面の育成するために共通する力は、先を見通し、善悪を判断し、相手を敬い思いやるための想像力であると考えています。その力をつけるためには、想像する、考える時間が必要です。安易に答えややり方を教えてしまっては育っていきません。はじめは分からなくても励まし、あの手この手で試練を乗り越えさせることが大切です。そのためにも学校と家庭の連携が大切になってくると思います。

今後とも保護者の皆様のご理解とご協力をお願いします。

お知らせ

・お子さんの春休みの生活について、「よい子の春休み」を熟読いただいた上でお声かけをお願いします。特に、留守家庭での過ごし方、お小遣い等の金銭の管理、量販店等への児童だけでの出入り(トラブル防止のため保護者または大人同伴のみ可、送迎のみは不可)についてご留意ください。